

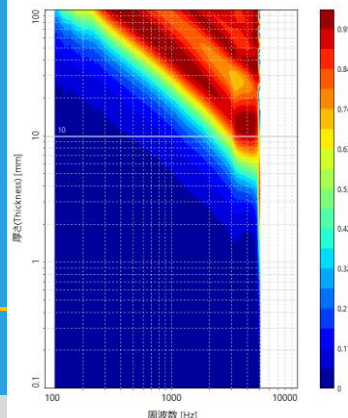
効率的な騒音対策に！

音響管計測による
吸音・遮音特性評価

基礎からの音響管計測

家電や産業機械をはじめ様々な機器に対して、音・振動に対する要求が従来に増して高まっています。不要な振動は、機器の故障を引き起こすだけでなく、不快な音として空気中に放射されます。放射された音を減少させたい場合、吸音材料の使用が有効であることが多く、音のエネルギーを吸収することにより、反射音を少なくすることができます。

本講座では、音の基礎や音響管計測について解説した後、グラスウールを用いて、音響管計測を行います。測定するパラメータは垂直入射吸音率、特性インピーダンス、伝搬定数、透過損失です。また、測定した結果を用いて、逆推定によって音響パラメータを求め、音響材料の特性を予測する方法も学んでいただきます。



こんな方におすすめ

- 音響材料を用いた機器の低騒音化をお考えの方
- 音響材料の開発、改良を行っている方
- 音響材料の特性予測を行いたい方

カリキュラム

10:00～10:30

音の基礎

10:30～11:30

音響管計測手法について

11:30～12:00

試料の作成

13:10～14:10

吸音率、特性インピーダンス、伝搬定数の測定

14:10～15:10

パラメータの逆推定及び吸音特性の数値シミュレーション

15:10～16:00

透過損失の測定

日時

令和8年 2月3日(火)
10:00～16:00

開催会場

KISTEC 海老名本部

形式

対面実施

定員

2名

費用

20,000円(税込)

詳細・申込はHPをご覧ください

<https://www.kistec.jp/learn/soundabsorption/>